

筑波大学大学院
人間総合科学学術院
人間総合科学研究群

障害科学学位プログラム
(博士前期課程・後期課程)

障害者をめぐる最近の社会的動向

2008年 国連「障害者の権利の条約に関する条約」の発効

2011年 障害者基本法の改定

2012年 障害者虐待防止法の施行

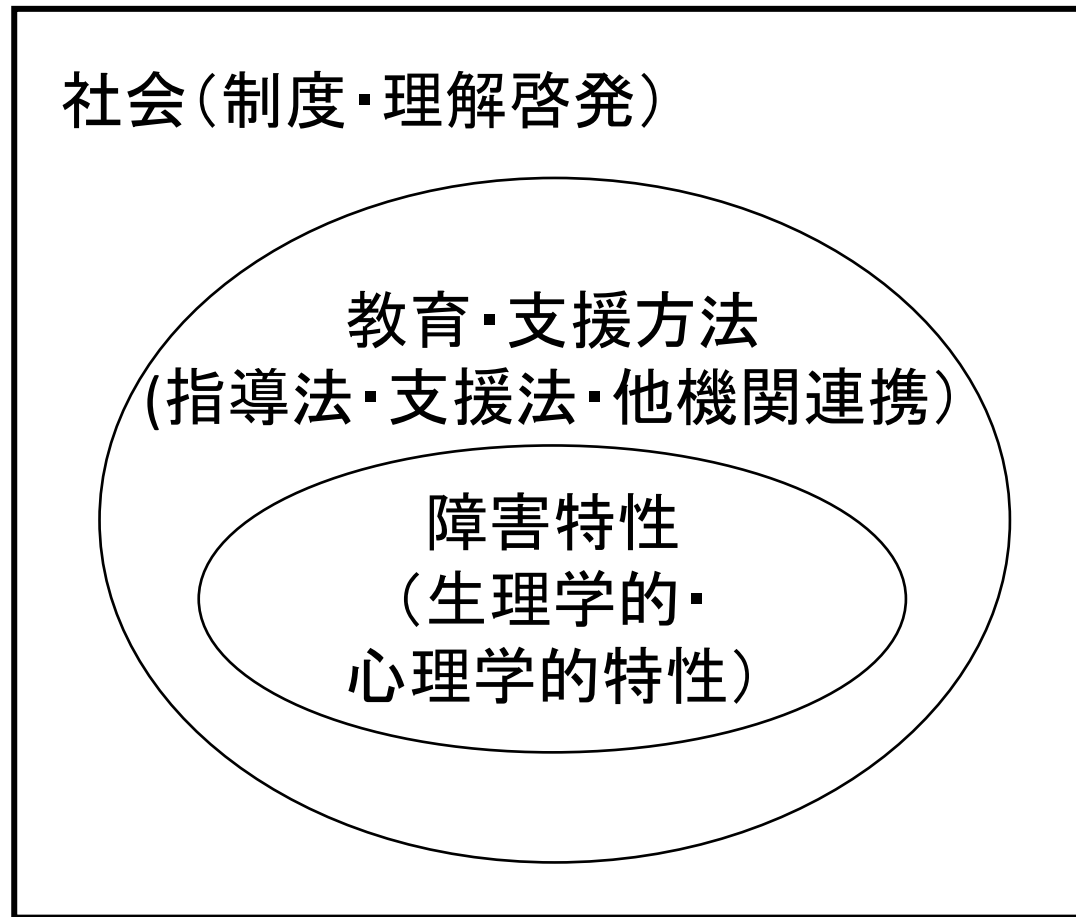
2013年 障害者差別解消法の制定

2013年 障害者総合支援法の施行

2013年 「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」の報告(文部科学省)

2016年 障害者差別解消法の施行(4月1日)

障害科学を構成する研究領域



研究分野	教員名	研究内容
視覚障害学	柿澤 敏文	視覚障害者の視機能・認知・身体能力、視覚障害原因調査
	小林 秀之	弱視児の視知覚特性に応じた教育的支援、視覚障害児の学習活動に対する支援
	和田 恒彦	理療及び理療教育に関する研究
	ラミチャネ・カマル	途上国における障害者の教育と労働に関する研究
	宮内 久絵	インクルーシブ教育における視覚障害児の支援体制に関する研究、イギリスの視覚障害教育に関する歴史研究
聴覚障害学	原島 恒夫	聴覚障害児・者の聴覚補償・聴覚情報処理および読話、早期教育、情報支援に関する研究
	鄭 仁豪	聴覚障害児・者の言語と認知発達に関する心理学的研究
	左藤 敦子	聴覚障害児の言語発達に関する心理学的研究

研究分野	教員名	研究内容
知的・発達・行動 障害学	熊谷 恵子	学習障害児の発達支援に関する研究、学習障害児の算数困難に関する研究
	柘植 雅義	特別支援教育推進に関する教育学的・行政学的研究、学校における指導・授業に関する教育学的・心理学的研究
	野呂 文行	知的・発達障害児者に関する応用行動分析学
	岡崎 慎治	知的障害児及び発達性障害児の注意機能に関する生理心理学的研究
	小島 道生	知的障害児及び発達障害児の自己に関する研究、ダウン症児者の発達支援に関する研究
	米田 宏樹	特別支援教育史・インクルーシブ教育制度・カリキュラム研究
	佐々木 銀河	大学における障害学生支援、発達障害のある人への支援技術(Assistive Technology)の開発・実装、教育・福祉施設における組織行動マネジメント

研究分野	教員名	研究内容
運動・健康障害学	竹田 一則	病弱児における医療、生理・心理学的研究 高等教育における障害学生支援に関する研究
音声・言語障害学	宮本 昌子	発話流暢性障害(吃音、クラタリング)のアセスメントと支援方法の開発
障害福祉学	名川 勝	知的・発達障害者の地域生活、権利擁護、意思決定支援、障害学生支援
	大村 美保	障害者の雇用・就労と経済的自立及び所得保障、知的・発達障害者の地域生活支援
	森地 徹	障害者ケアマネジメント・地域生活支援・セルフアドボカシー
障害原理論	岡 典子	障害者教育・福祉史、障害と社会、インクルーシブ教育の国際比較

博士前期課程

<http://www.human.tsukuba.ac.jp/ids/disability-mp>

- 募集人員 38名

- 障害科学

- ・特色

- 障害者の発達支援および支援に関わる生理・心理学、特別支援教育学、福祉学を中心に学習する

- ・学位

- 修士(障害科学)

- ・進路

- 障害者の支援に関する生理・心理学、特別支援教育学、福祉学等を背景とした専門職(特別支援学校教員、公務員等)

- 後期課程に進学して、障害者の生理・心理学、特別支援教育学、福祉学に関する研究者を目指す

博士前期課程(全般的特徴)

- 募集人員(38名)・専任教員数(約20名)は、我が国最大
- 特別支援学校教諭免許状(1種・専修／5領域)
- 臨床発達心理士・学校心理士の受験資格
- 学内外の諸機関との連携
 - 附属特別支援学校5校での実習・研究等



修了生の進路先の状況(人数)

年度	学校教員 (現職派遣含)	公務員	企業・ 法人等	進学	その他 (大学教員・ 帰国等)	修了者数
26	13 (36%)	0	13 (36%)	6 (17%)	5 (14%)	36
27	13 (30%)	3 (7%)	9 (20%)	9 (20%)	10 (23%)	44
28	11 (31%)	4 (11%)	12 (34%)	3 (9%)	5 (14%)	35
29	6 (17%)	3 (8%)	10 (28%)	8 (22%)	9 (25%)	36
30	18 (36%)	4 (8%)	12 (24%)	7 (14%)	9 (18%)	50

- ◆企業:株式会社LITALICO, たすく株式会社, 社会福祉法人, 公益財団法人 等
- ◆公務員:市役所(保健師, 心理士, 療育指導員, 言語聴覚士等), 教育委員会 等
- ◆その他:ホーチミン師範大学, 広西師範大学, 帰国, 就活中 等

博士後期課程

<http://www.human.tsukuba.ac.jp/ids/disability-dp>

募集人員 10名

特色 障害科学全般について探究
日本の障害科学を牽引(専任教員20名)

入試 研究計画プレゼン+質疑応答
修士論文等の評価

進路 障害科学関連の大学教員・研究者
高度専門職業人(特別支援学校教員等)

[最近の後期課程修了生・後期課程学生の就職状況]

* 本学・助教
* 山形大学・講師
* 岐阜大学・助教
* 信州大学・助教
* 宮崎大学・講師

* 本学・特任助教
* 岡山大学・講師
* 群馬大学・准教授
* 茨城大学・講師
* 山梨大学・准教授

* 福岡教育大学・講師 * 兵庫教育大学・助教, 講師
* 愛知教育大学・講師 * 大阪教育大学・助教
* 福山市立大学・講師 * 名寄市立大学・講師
* 長野大学・准教授 * 日本女子大学・助教
* 東北福祉大学・講師 * 甲南女子大学・講師
* 東京聖徳大学・助教 * 名古屋女子大学・講師
* つくば国際短期大学・助教

博士論文のタイトル

平成30年度(2018年度)

- 自閉スペクトラム症児における知覚的視点取得の成立条件に関する研究
- 保育場面における自閉スペクトラム症児の社会的遊びに関する研究ー生態学的調査に基づく遊びの選定と指導ー
- 空間的注意および危機感を中心とした移動時の注意不全に関する研究: ADHD傾向者・健常高齢者を対象とした検討
- 肢体不自由特別支援学校における教師の協働に基づく現職研修プログラムの実施と効果ー若手教師の自立活動の指導に関する専門性向上に焦点をあててー
- 自閉スペクトラム障害児童に対する社会的スキルの欠如タイプに応じた指導の有効性に関する研究
- 自閉スペクトラム症児の偏食に対する応用行動分析的アプローチー日常場面で実施可能な先行子操作に基づく介入の検討ー
- 特別支援学校理療科生徒に対する坐骨神経鍼通電の刺鍼部位決定のための指導法の開発に関する研究

博士論文のタイトル

平成29年度(2017年度)

- 小学校通常学級における相互依存型集団随伴性に基づく支援に関する研究
－発達障害児童を含む学級全児童への効果－
- 高等教育機関における修学支援に際して聴覚障害学生が経験する心理的課題に関する研究
- 米国スタンダード・ベース改革における障害のある児童生徒の通常教育カリキュラムへのアクセスに関する研究
- 自閉スペクトラム症児の視覚情報処理における全体-局所優位性に関する研究
- 通常学級における個別の指導計画に関わる協働モデルの構築と展開－脳性まひ児に対する個別の指導計画に着目して－

博士論文のタイトル

平成28年度(2016年度)

- 注意欠如・多動症児の干渉抑制機能に及ぼす外的教示の影響に関する生理心理学的研究
- 盲幼児児童におけるはめこみ構成課題に関する研究－課題の難易度および関連する要因の検討－
- 聴覚障害児の視点取得の発達的特徴に関する研究－読書力と課題の違いによる検討－
- 20世紀前半アメリカ合衆国公立学校における学業・行動問題への心理学者の着目と検査・分類方法の模索-臨床的対応から制度的対応への展開-
- 児童養護施設職員の入所児支援におけるPDCAサイクルの確立－組織行動マネジメントに基づく問題解決スキル促進システムの開発－

博士論文のタイトル

平成27年度(2016年度)以前

- 応用行動分析に基づくBPSDマネジメント介護職員研修の効果維持に関する研究
- ベトナムの聾学校小学部における聴覚障害児の読みの特徴に関する研究
- 聴覚障害者におけるリズムの表出に関する実験的研究
- 重度・重複障害教育におけるカリキュラム評価に関する研究
- 聴覚障害児における漢字の読み習得要因に関する研究
- インドネシア大学生における障害者ステレオタイプー障害者ステレオタイプの内容・構造・適用に焦点をあててー
- 点図の線の読みとりやすさに関する基礎的研究
- 台湾の中途視覚障害者の社会的適応に関する研究ー日常生活の特徴とリハビリテーション訓練効果の検証を中心にー
- 手話-日本語同時通訳における作業内容の分析および困難点の抽出
- カナダ・オンタリオ州における精神薄弱者の処遇問題の成立と展開
- 米国における精神薄弱者処遇の展開ー1840年代～1920年代を中心にー
- 触読時間を規定する触読材料の心理学的特性に関する研究ー点字の物理的特徴と言語的要因の関連性についてー

大学院生の学習環境

- 院生学習室
- TA(ティーチング・アシスタント)として授業補助の機会
- 国際研究交流の機会(授業「海外特別研修セミナー」「海外研究活動 I・II」等、国際交流協定校等)
- 障害科学学会
- 国際学会発表の旅費一部補助(大学等)

(国際行動分析学会 米国・サンアントニオ 2015年5月)

